

MUFG がインドのノンバンク大手に出資—格付に影響なし

以下は、株式会社三菱UFJ銀行（証券コード：-）によるインドのShriram Finance Limitedへの出資についての株式会社日本格付研究所（JCR）の見解です。

■見解

- (1) 12月19日、三菱UFJフィナンシャル・グループ（MUFG）の中核銀行である三菱UFJ銀行がインドの民間大手ノンバンク Shriram Finance Limited（SFL）（外貨建長期発行体格付：BBB+）の第三者割当増資を引き受けることを発表した。三菱UFJ銀行は、約3,962億インドルピー（約6,823億円）を投じて株式の20%を取得し、SFLを持分法適用関連会社とする予定である。
- (2) SFLは、インドのリテールノンバンク（住宅金融会社を除く）として第2位の貸出残高（AUM、約2.8兆インドルピー）を有する。中小零細企業や個人事業主向けの貸出を手掛けており、特に中古トラックを中心とした商用車ローンなどに強みを持つ。インド全域に約3,200の拠点を構え、顧客数は約970万人に上る。MUFGがアジアの事業ポートフォリオ強化に取り組む中、中長期的な成長が期待されるインドでの事業機会の取り込みに向けた投資と位置付けられる。
- (3) MUFGの連結普通株式等 Tier1（CET1）比率（その他有価証券評価差額金を除く、バーゼルⅢ最終化完全実施ベース、以下同じ）は25年9月末10.5%。本件出資により0.6%程度低下する見込みだが、これを加味しても格付に見合う資本充実度は保たれる。MUFGはCET1比率を9.5～10.5%のレンジでコントロールする方針であり、この範囲でのCET1比率の変動はすでに格付に織り込まれている。SFLの利益規模を踏まえると、持分法による投資損益を通じた利益貢献も限定的である。

（担当）宮尾 知浩・古賀 一平

【参考】

発行体：株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ

長期発行体格付：AA 見通し：安定的

発行体：株式会社三菱UFJ銀行

長期発行体格付：AA 見通し：安定的

発行体：株式会社三菱UFJ信託銀行

長期発行体格付：AA 見通し：安定的

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したもので、ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遗漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものではありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っています。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等をすることは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.

信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル